

平成28年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 国土交通省水管理・国土保全局下水道部	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道企画課 峯 健介
代表者氏名 下水道部長 塩路 勝久	TEL :03-5253-8427 MAIL:mine-k82ac@mlit. go. jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 行政広報部門 部門	事例名 うんち大研究！下水道ワークショップ ～うんちはどこからやってきて、どこへ行くの？～
------------------	---

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

「うんち大研究！下水道ワークショップ」は、全国どこでも楽しく下水道や水・資源の循環について学習できる国土交通省が作成した環境教育プログラム（ワークショップ）で、これまでに小学校や科学館等で8回開催しています。



○制作目的

予算・人的制約、ノウハウ不足で下水道広報戦略が打ち出せない自治体からの声を受け、誰でも簡単に下水道広報出来るツールを作成し活用されることで、各地で環境教育が評価される土壌を作ることが目的です。

謎解き形式で「ウンディー」隊長と隊員サポートのもと、下水道のお勉強。

○プログラムのポイント

- ・子供たちにとって身近な「うんち」を軸に、「食物・飲料水→身体→排泄→下水道→処理→河川・海（資源化）→食物・飲料水」という循環から、健康的な生活と下水道の役割の両方について学習出来ます。
- ・職員扮する「ウンディー探検隊」が学習をサポートします。
- ・子ども自らが「紙の溶け比べ実験」に参加するなど、体験を盛り込むことで学びが深まるように工夫しています。



職員扮する「ウンディー探検隊」

子どもたちも興味津々の「紙の溶け比べ実験」

平成28年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

- ・ワークショップは身近な道具を準備するだけでOKです。
- ・教材やシナリオはアレンジができるので、環境教育が初めての方でも簡単に実施できます。（運営マニュアルは国土交通省HPで公開しています。）
- ・子どもたちが地域の下水道に目を向け、親近感をもってもらえるよう、ワークショップの中で、開催地の下水道（処理場やご当地マンホール等）を紹介するなど工夫しています。
- ・プログラムは、下は4歳から上は6年生まで、幅広い子どもたちに対応できます。
- ・多くの団体が連携する場合であっても、当日に通し練習するだけで本番も成功できます。
- ・国土交通省職員だけでなく地方公共団体職員主催のワークショップが広がっています。

付属資料の提出

あり ・ なし （どちらかに○）